

形名

VL-500HR

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

■据付工事を始める前に必ずこの据付工事説明書をお読みにになり、正しく安全に据付けてください。

■据付工事は販売店または専門の工事店さまが実施してください。

●間違った工事は故障や事故の原因になります。

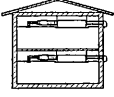
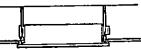
■据付工事は必ず付属部品と指定の部品およびシステム部材をご使用ください。

●当社指定部品およびシステム部材を使用しないと故障の原因になります。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

	ページ
1. 安全のために必ず守ること	2
2. 据付け前のお願ひ	2
3. システムと使用部材例	3
4. 現地で使用する主な部品	3
5. 外形寸法図	4
6. 付属部品一覧	4
7. 据付方法〈ポイント〉	5
7-1. 据付けの条件	6
7-2. 付属部品の取付け	6
7-3. 吊りボルトの設置	7
7-4. 吊り込み作業	7
7-5. 断熱ホース接続	8
7-6. 温水配管接続	8
8. 電気配線接続〈ポイント〉	9
8-1. 配線要領図(結線図)	9
8-2. 本体配線接続	10
8-3. コントロールスイッチの取付・配線接続	11
8-4. 空調用温度コントローラの配線接続	12
8-5. ボイラの配線接続	12
9. 吸込パネル(P-500GT)の取付け〈ポイント〉	13
9-1. 天井開口位置決め用型紙の取付け	13
9-2. 天井開口作業	13
9-3. 吸込パネルの取付け	14
据付工事後の確認	別紙
10. 試運転	15
11. お客さまへの説明	16

製品据付のポイント

- ★断熱空間内に設置する…… **7-1**
(据付方法)

- ★水平に設置する…… **9-3**
(据付方法)

- 周波数設定を行う…… **8-2**
(電気配線)
基板コネクタの差し換え作業
- ★システム(分岐)設定を行う…… **8-2**
(電気配線)
基板コネクタの差し換え作業

吹出グリルP-07GQC(-BE)、ボイラの据付方法は個別の据付工事説明書をお読みください。

1. 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

△警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	△注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
------------	----------------------------------	------------	------------------------------------

●図記号の意味は、次のとおりになっています。

	禁止		分解禁止		水ぬれ禁止		指示に従い必ず行う		アース線接続
--	----	--	------	--	-------	--	-----------	--	--------

△警告

- 改造や必要以上の分解はしない。
(火災・感電・けがの原因になります)
- 浴室など湿気の多い所には、本体・壁スイッチとも取付けない。
(漏電・感電の原因になります)
- 交流100Vを使用する。
(直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります)
- 外気取り入れ口は燃焼ガス排気を吸込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ。
(新鮮空気が取り入れられず、室内空気が酸欠状態になる恐れがあります)
- 天吊金具が引っ掛かっていることを確認する。(引っ掛かりが不十分ですと落下の恐れがあります)
- 端子台接続部は、指定の電線を使用し、抜けないように確実に接続する。
(接続に不備があると火災の恐れがあります)
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う。
(接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)
- メタルラス張り・ワイヤラス張り、または金属張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取付ける。
(漏電した場合発火することがあります)
- 据付けは、製品質量に十分耐える所に確実に行う。
(強度の不十分な所に据付けるとユニットが落下し、けがの原因になります)
- アースを確実に取付ける。
(故障や漏電のときに感電の原因になります)

△注意

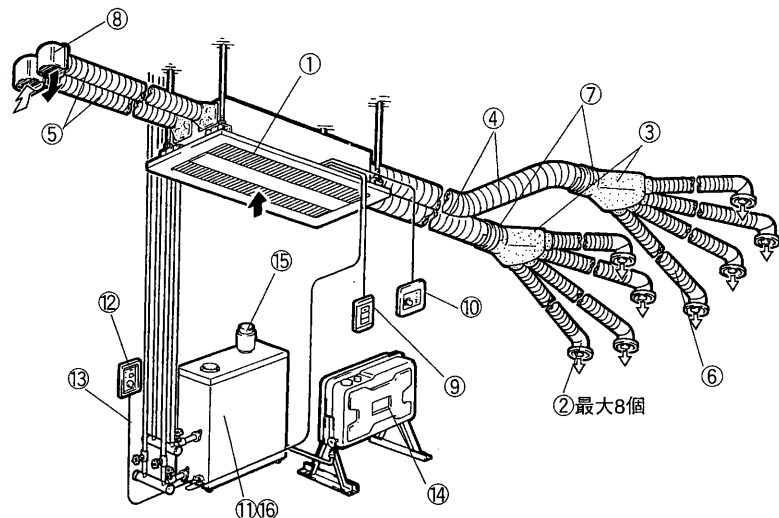
- 高温となる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所には取付けない。
(火災の恐れがあります)
- 端子台カバーなどは操作後、必ず閉める。
(ほこり・湿気などの侵入により、漏電・火災の原因になります)
- 本体より室外側のダクトは室外に向かって下りこう配になるように取付け、断熱処理を確実に行う。
(雨水の浸入による漏電・火災や家財の損傷の恐れがあります)
- 据付け後長期間ご使用にならない場合は、必ず分電盤ブレーカーを切る。
(絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります)
- 据付けの際は必ず手袋を着用する。(けがの原因になります)
- 据付場所によっては、漏電しゃ断器を取付ける。(感電の原因になることがあります)
- 防錆循環液は当社純正品(VPZ-10GX,18GX)をご使用ください。2年に1回強化剤添加、4年に1回交換の必要があります。(純正品を使用しないと水濡れなどで家財の損傷の恐れがあります)

2. 据付け前のお願ひ

- 電気配線は専用回路を設けてください。
- 天井材は共鳴しにくい材質をお使いください。
- 強い風を受けることが予測される地域では、運転停止時に外風が侵入する恐れがありますので、給・排気がまざらない配管工事をしてください。
- ダクト配管は、風量低下や異常音発生を防ぐため、極端な曲げ、本体吹出口のすぐそばでの曲げ、極端なしぼりはしないでください。



3.システムと使用部材例



分類	No.	品名	形名	メーカー	分類	No.	品名	形名	メーカー
グリル	①	吸込パネル	P-500GT	当社製	スイッチ類	⑨	コントロールスイッチ	付属部品	当社製
	②	吹出グリル	P-07GGC(BE)			⑩	空調用温度コントローラ	P-03CTU-DS ₂	
	③	分岐チャンパー	KDX-C			⑪	油だき温水ボイラ	VKH-80KU-K	
ダクト部材	④	φ150断熱ホース	KDX-150D-2	カナフレックス コーポレーション (株)製	ボイラ関連	⑫	ガスボイラ	VGH-90GT	当社製
	⑤	φ100断熱ホース	KDX100S-6			⑬	ボイラリモコン	VPZ-11ORCS	
	⑥	φ75断熱ホース	KDX75D-5			⑭	メインリモコン(ガス用)	VPZ-90GRC	
	⑦	ホース継手	KDX75T.150T			⑮	リモコンコード	VPZ-11ORC-5	
屋外部材	⑧	深形フード	P-13VA	当社製	⑯	別置き油タンク	VKZ-90L ₂	当社製	
	⑫	防火ダンパー付	P-13VAD		⑰	屋外用排気セット	VPZ-11ORFS		
	⑬	深形フード			⑱	防錆循環液	VPZ-18GX		

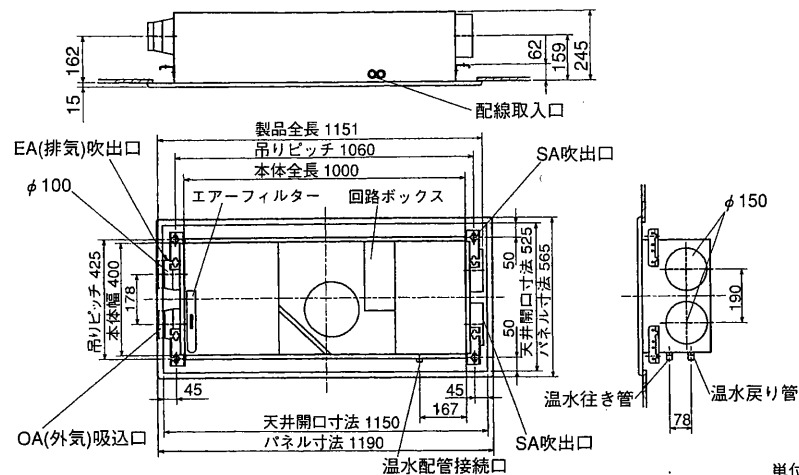
4.現地で使用する主な部品

	品名	仕様など	備考	主な工具
本体設置	ボルト ナット	M10 M10 12個	天吊り用	ドライバー、金ノコギリ、スパナ、モンキー、水準器、巻尺
ホース接続	アルミテーブ 断熱材、ウレタン発泡スプレー ホースバンド			カッター、ニッパー
温水配管	断熱材付銅管 ストップバルブ ユニオン継手 配管部品 シールテーブ 銅管接続用ロウ材、ハンダ 三菱暖房用防錆循環液	φ15.88mm 2個 PT1/2:2個 PT3/4:2個 2分岐ヘッダー、ソケットなど JISZ3264、Z3282適合品 VPZ-10GX・18GX		スパナ、モンキー パイプカッター
電気配線	専用ブレーカー 電源電線 コントロールスイッチ電線 空調用温度コントローラ電線 ボイラ電線 ジョイントボックス JIS 1個用スイッチボックス JIS 2個用スイッチボックス 絶縁ビニールテーブ 配線部品	単相125V 15A以上 VVF φ1.6mm VVF φ1.6mm VVF φ1.6mm 電話線2芯 PVC単線φ0.65mm 松下電工製WJ3201Bなど 1~3個(本体設置台数による) 1~3個(本体設置台数による) 圧着端子など	コントロールスイッチ用 P-03CTU-DS ₂ 用	絶縁抵抗計 (メガオメガ)

5.外形寸法図

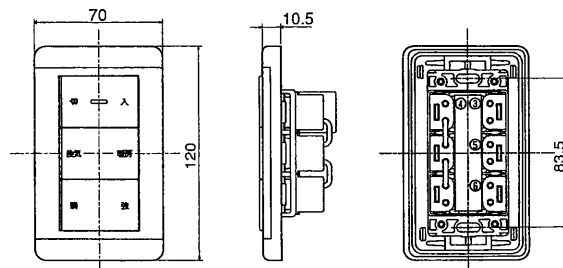
※図は室内側から天井面を見たものです。

■名称：換気暖房ユニット：VL-500HR



単位(mm)

■名称：コントロールスイッチ(ランプ付き)：VL-500HRに同梱



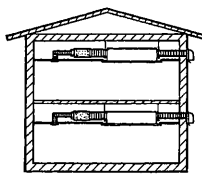
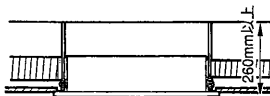
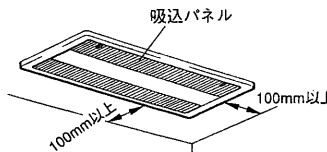
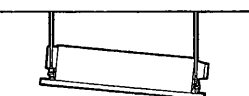
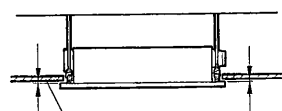
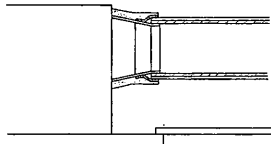
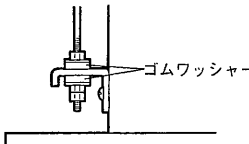
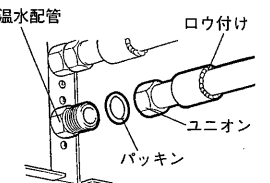
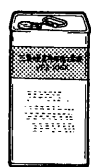
単位(mm)

6.付属部品一覧

断熱ホース接続口...4個	天吊金具...4個	型紙...1枚	エアフィルター...1個	説明書類...3冊	保証書...1通
φ150用...2個	φ100用...2個			据付工事説明書...1冊	取扱説明書...1冊
				「据付工事後の確認」...1枚	
		ワッシャー...16枚			
		鋼板製...8枚			
		ゴム製...8枚			
取付ネジ...16本		取付ネジ...8本	取付ネジ...4本	コントロールスイッチ...1個	●型紙・説明書類・保証書は梱包材上ぶたの下にあります。その他の付属部品は、付属部品箱の中にあります。
PTT4-8		PT4-8			●取付ネジの種類を間違えないでください。

7. 据付方法

据付けのポイント

<p>断熱空間内に設置→ 7-1</p>  <p>2階小屋裏でも断熱空間内設置</p>	<p>天井ふところ260mm以上→ 7-1</p> 	<p>壁面からの距離100mm以上→ 7-1</p>  <p>メンテナンス空間確保</p>
<p>水平設置→ 9-3</p>  <p>〔悪い例〕</p> <p>天井と吸込パネルのすき間防止</p>	<p>本体位置と天井穴の位置確認→ 9-3</p>  <p>天井と吸込パネルのすき間防止</p>	<p>ダクト接続部の断熱処理→ 7-5</p>  <p>結露防止</p>
<p>防振対策→ 7-3</p>  <p>ゴムワッシャを必ず使用</p>	<p>温水配管にユニオン接続使用→ 7-6</p>  <p>メンテナンスに必要</p>	<p>当社製防錆循環液の使用→ 11</p>  <p>水漏れ防止、凍結防止</p>

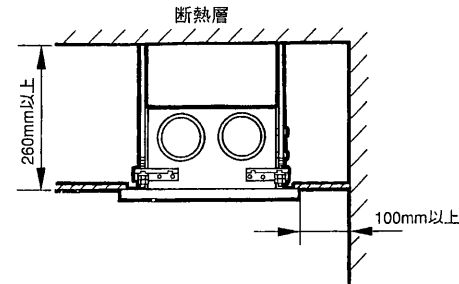
据付場所

●本体から空気吸込音がしますので、廊下天井裏などの音が気にならない場所に据付けてください。

7-1. 据付けの条件

警告

●据付けは、製品質量に十分耐える所に確実に行う
(強度の不十分な所に据付けるとユニットが落下し、けがの原因になります)



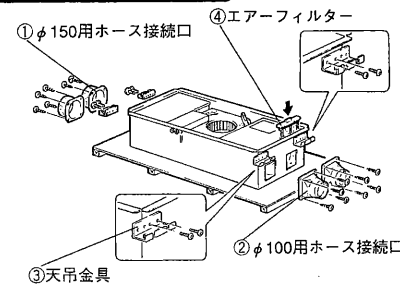
- 天井裏であっても断熱空間内に設置すること。
(暖房能力の低下、結露の発生が起こります)
- 天井ふところが260mm以上確保できる場所
- 吸込パネルをささげる障害物(収納箱など)がない場所
- 住宅内の空気を均一に吸い込める場所
推奨：廊下天井裏、洗面所天井裏、ユーティリティ天井裏

次の場所には設置しない

- 結露の恐れがある高温多湿の場所
- メンテナンススペースのない場所
- 寝室等、微少騒音、振動が問題になりやすい場所
- 真下に家具、美術品などが置かれている場所

7-2. 付属部品の取付け

図に従い取付け

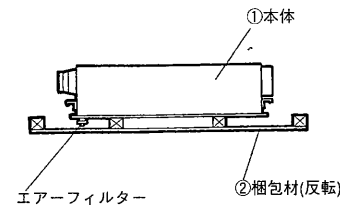


- ① φ150用ホース接続口を取付ける。
●数量：2個 取付ネジ：PTT4-8 計8本
- ② φ100用ホース接続口を取付ける。
●数量：2個 取付ネジ：PTT4-8 計8本
- ③ 天吊金具を取付ける。
●数量：4個 取付ネジ：PT4-8 計8本
- ④ エアフィルターを取付ける。
●クリック感があるまで差し込みます。

お願い

- 風もれ防止のため取付ネジは確実に締め付けてください。
- 風もれ防止のためエアフィルターと本体にすき間がないか確認してください。

吊り作業までの保管

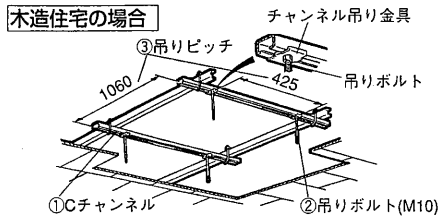


- ① 本体へのほこり・ゴミの侵入防止
●本体を吊り状態と同じ向きで保管します。
- ② 梱包材で本体を底上げる。
●エアフィルターの取っ手の折れを防止するため、梱包材を図のように反転させ本体を底上げします。

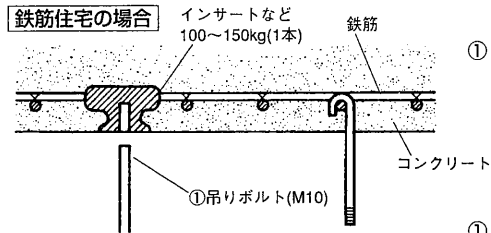
7-3. 吊りボルトの設置

吊りボルトの取付け

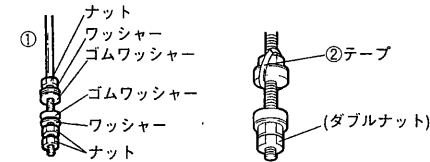
木造住宅の場合



鉄筋住宅の場合



ワッシャー・ナットの取付け



- 吊りボルトは(M10)を使用します。
- 吊りボルトは天井面から30mmの距離を離します。

- ① 市販のCチャンネルを梁に取付ける。
- ② 吊りボルトを取付ける。
 - Cチャンネルにチャンネル吊り金具を使用して吊りボルトを取付けます。
- ③ 吊りピッチを合わせる。
 - 外形寸法図の吊りピッチに合わせ吊りボルト位置を調整します。

- ① 図のように吊りボルトを固定する。
 - またはアングル・角材などを使用して吊りボルトを取付けます。

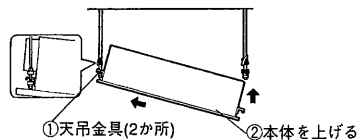
- ① 図に従いワッシャー・ナット・ゴムワッシャーを取付ける

- お願い
- ナットはM10を使用します。
 - 防振のため必ずゴムワッシャーを使用します。

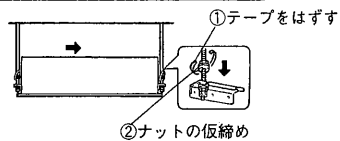
- ② ワッシャー類をテープで仮固定する。
 - 吊り込み作業の準備として上側のナット・ワッシャーをテープで固定します。

7-4. 吊り込み作業

吊り込み作業



吊り込み後の処理



- ① 片側2か所の天吊金具を吊りボルトに引っ掛ける。

△警告

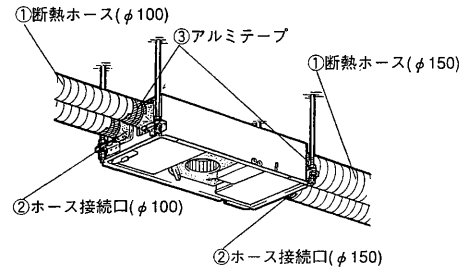
- 天吊金具が引っ掛かっていることを確認する。(引っ掛かりが不十分ですと落下の恐れがあります)

- ② 本体を押し上げ、もう片側の天吊金具を吊りボルトに引っ掛ける。

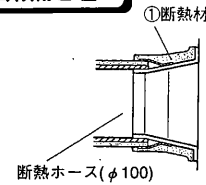
- ① 仮固定したテープをはずす。
- ② ナットを仮締めする。

7-5. 断熱ホース接続

断熱ホースの接続方法



断熱処理



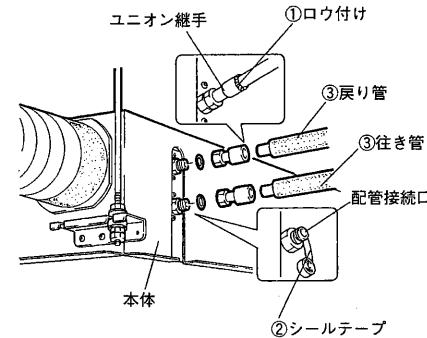
- ① 本体位置に合わせ断熱ホースを切断する。
- ② ホース接続口に差し込む。(外はめ)
 - 空調用φ150断熱ホース、換気用φ100断熱ホースを接続します。

お願い

- 断熱ホースに無理な力が加わっていないか、つぶれはないか確認してください。
- ③ 市販のアルミテープを全周に貼り付ける。
 - またはホースバンドで抜けないように固定します。

- ① 換気用φ100断熱ホース接続口を断熱する。
 - 市販の断熱材やウレタン発泡スプレーで断熱します。

7-6. 温水配管接続



- ① ユニオン継手をロウ付けする。
 - ボイラからの温水配管先端にユニオン継手をロウ付けします。
- ② シールテープを巻く。
 - 本体の配管接続部分にシールテープを巻き付けます。
- ③ 温水配管の行き管と戻り管を本体の接続口に合わせて接続し、ユニオン継手を締め付ける。

お願い

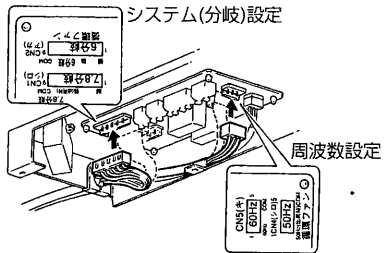
- ボイラ側の配管接続は、ボイラの据付工事説明書に従ってください。
- メンテナンスのために、必ずユニオン継手を使用して接続してください。

8.電気配線接続

警告

- 交流100Vを使用する
(直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります)
- 端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する
(接続に不備があると火災の恐れがあります)
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
(接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)

電気配線のポイント



システム(分岐)設定 8-2

- 本体1台に対し吹出グリル数が6個以下は基板コネクタの差し換えを行う。
(吹出グリル数が7個以上は差し換えをしない)

周波数設定 8-2

- 60Hz地域は基板コネクタの差し換えを行う。
(50Hz地域は差し換えをしない)

電源は同一ブレーカーから 8-1

- システムの電源を一括OFFにするため、すべての電源を同一ブレーカーからとる。
- 電源を別々のブレーカーから取ると一括OFFできません。

端子番号を合わせて接続 8-3

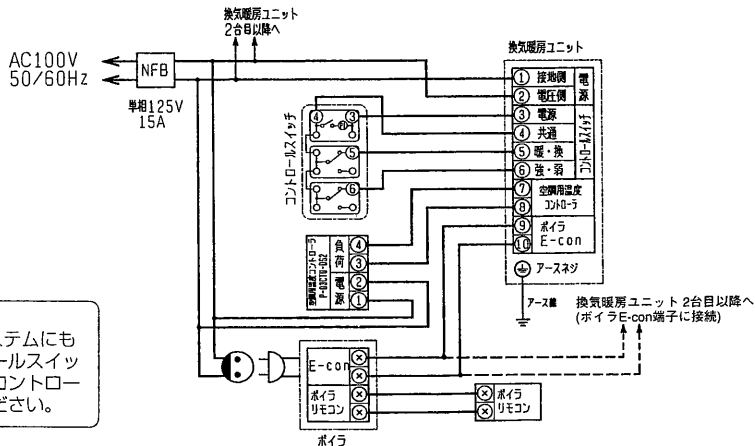
- 本体基板と付属部品のコントロールスイッチは、接続する端子の番号を一致させる。
- 配線はVVFφ1.6使用
- VVFφ2.0は使用できません。

ボイラ確認(当社製の場合) 8-5

- ボイラ基板上的の運転モード切換スイッチを「R」にする。
- 故障表示のためボイラリモコンを取付ける。
- ボイラリモコンは「切」にする。

8-1. 配線要領図(結線図)

※「据付工事後の確認」表の裏面にも記載してあります。配線時参考にしてください。

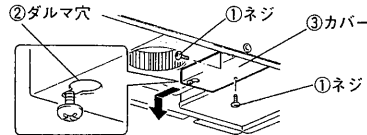


お願い

- 2台目以降のシステムにも個別にコントロールスイッチ、空調用温度コントローラを取付けてください。

8-2. 本体配線接続

カバーをはずす

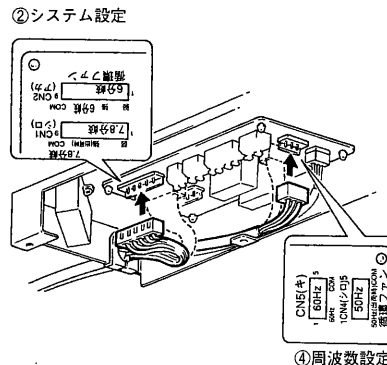


- ① ネジ2本をはずす。
- ② ダルマ穴のネジをゆるめる。
- ③ カバーをはずす。

お願い

- カバーを落とさないでください。破損の原因になります。

システム(分岐)設定・周波数設定



システム(分岐)設定

- ① 吹出グリル数を確認する。
 - 本体1台に対し、吹出グリルをいくつ設置するかホース配管図で確認します。
- ② 6個以下は、基板コネクタを差し換える。
 - CN1(シロ)からCN2(アカ)に差し換えます。
 - 吹出グリルが7個以上の場合は差し換えません。

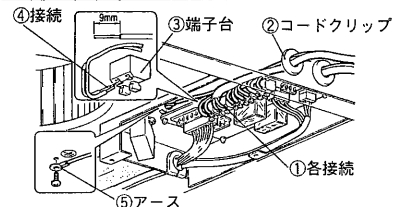
周波数設定

- ③ 使用地域の電源周波数を調べる。
- ④ 60Hz地域は、基板コネクタを差し換える。
 - CN4(シロ)からCN5(キ)に差し換えます。
 - 50Hz地域は、差し換えません。

お願い

- 差し換えたコネクタが確実に挿入されているか確認してください。

配線接続



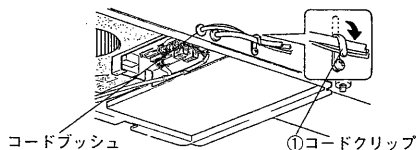
- ① 各接続を行う (8-3.8-4.8-5) の各接続を参照
- ② 側面のコードプッシュに通し配線する。
- ③ 接続端子に差し込む。

お願い

- 端子は速結端子です。皮むきは先端9mmとし奥まで確実に差し込んで抜けないことを確認してください。

- ④ 電源を接続する。
 - 本体端子①、②に電源線を接続する。
 - 接続電線はVVFφ1.6mmを使用する。
- ⑤ アース端子を利用して第3種接地工を行う。

配線固定



- ① コードクリップで固定する。
 - 側面のコードプッシュ付近にあるコードクリップを利用して配線を固定します。

お願い

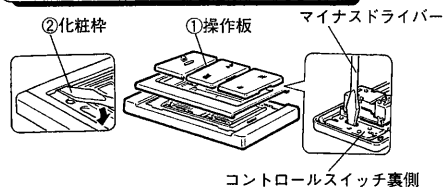
- 配線に外力が加わってもコードクリップがはずれないよう確実に固定してください。

カバーの取付け

■カバーの取りはずすと逆の手順で取付ける。

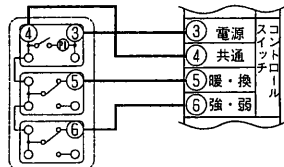
8-3. コントロールスイッチの取付け・配線接続

操作板・化粧枠の取りはずし

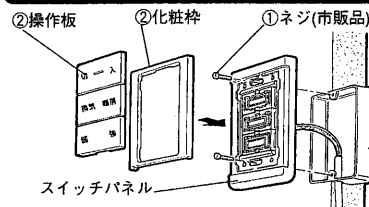


配線接続

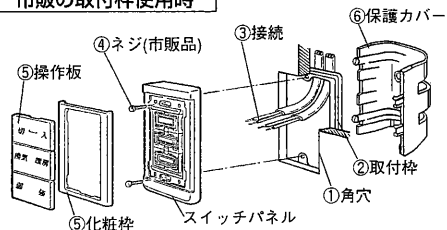
コントロールスイッチ 換気暖房ユニット本体



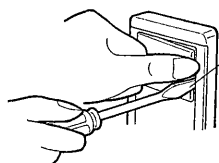
コントロールスイッチの固定



市販の取付枠使用時



操作板のはずしかた



① マイナスドライバーの先で傷を付けないようはずす。

- ① 操作板を取りはずす。
●コントロールスイッチの裏側の穴からマイナスドライバーで押して操作板をはずします。
●真中の操作板は、コントロールスイッチの表側からマイナスドライバーではずします。
- ② 化粧枠を取りはずす。
●コントロールスイッチの表側からマイナスドライバーではずします。

- ① 配線を接続する。
●本体の端子番号(③~⑥)とコントロールスイッチの端子番号(③~⑥)を合わせて接続します。

お願い

- 結線を間違えるとファンが回らなかったり、風量切換スイッチが「強」でも「弱」の運転をします。結線を間違えないようにしてください。
- 端子は、連結端子です。皮むき方は先端9mmとし奥まで確実に差し込んで抜けにくいことを確認してください。

- ① 市販のネジ(M4皿小ネジ)で固定する。
●スイッチパネルを1個用スイッチボックスに取付けます。
- ② 化粧枠・操作板をはめ込む。
●操作板は上から「切・入」、「換気・暖房」、「強・弱」の順にはめ込みます。

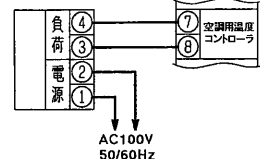
- ① 壁にタテ95×ヨコ55mmの角穴をあける。
- ② 市販の取付枠を角穴にはめ込み固定する。
- ③ 配線接続をする。(配線接続参照)
- ④ 市販のネジ(M4皿小ネジ)で固定する。
●スイッチパネルを取付けます。
- ⑤ 化粧枠・操作板をはめ込む。
●操作板は上から「切・入」、「換気・暖房」、「強・弱」の順にはめ込みます。
- ⑥ 断熱材がある壁は、保護カバーを取付ける。

- ① コントロールスイッチの取付け後は、図のようにはずす。
●マイナスドライバーで傷を付けないようにはずす。

8-4. 空調用温度コントローラ(P-03CTU-DS2)の配線接続

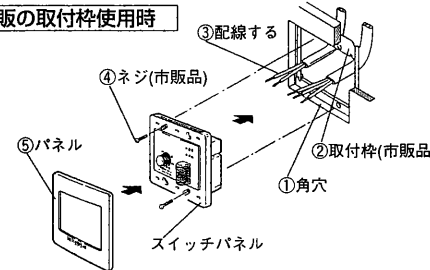
配線接続

空調用温度コントローラ 換気暖房ユニット本体



空調用温度コントローラの固定

市販の取付枠使用時



- ① 本体と配線する。
●本体の温調端子⑦、⑧と空調用温度コントローラの負荷端子③、④を配線接続します。

- ② 電源を配線する。
●空調用温度コントローラ①、②に電源AC100Vを配線接続します。

お願い

- 電源は本体と同一ブレーカーから取り出してください。
- 端子は、連結端子です。皮むき寸法は先端9mmとし、奥まで確実に差し込んで抜けにくいことを確認してください。

- ① 壁面にタテ95×ヨコ101mmの角穴をあける。
- ② 市販の取付枠を角穴にはめ込み固定する。
- ③ 配線接続する。(配線接続参照)
- ④ 市販のネジ(M4皿小ネジ)で固定する。
●スイッチパネルを取付けます。
- ⑤ パネルをはめ込む。

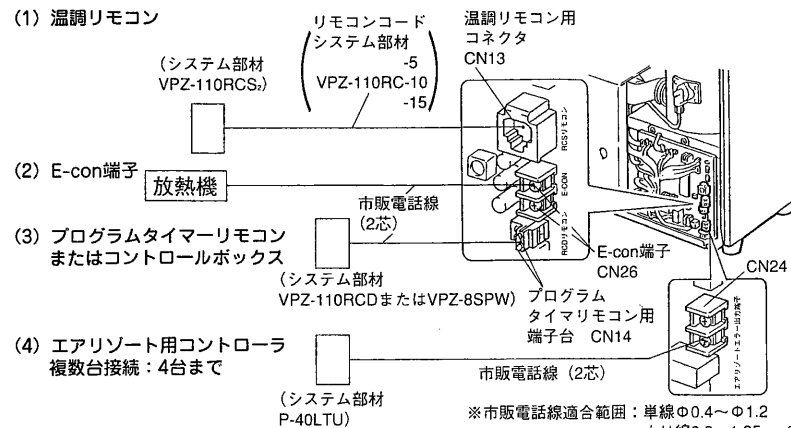
お願い

- 分解方法：JIS スイッチボックスへの固定方法は、空調用温度コントローラ(P-03CTU-DS2)の据付工事説明書を読んでください。

8-5. ボイラの配線接続

配線接続

電気配線工事は通電状態では行わず、工事完了後通電してください。
ボイラ本体右下の基板上端子(コネクタ)とそれぞれのリモコンを通信線で接続します。



※市販電話線適合範囲：単線φ0.4~φ1.2
より線0.3~1.25mm²

9. 吸込パネル(P-500GT)の取付け

取付け作業のポイント

断熱の確認

●本体及び断熱ホース上面にも断熱材がすき間のないよう敷きつめてあることを確認してから取付け作業に移ります。

取付け作業のタイミング

●断熱ホース接続、温水配管接続、電気配線接続がすべて終了してから行います。
●天井材を張り、天井開口穴を開けてから取付け作業を行います。
●「据付工事後の確認」表でチェックします。

位置確認 - 9-3

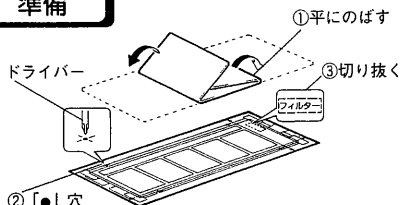
●本体の水平を水準器で確認しながら調整します。
●天井穴と本体位置を外形寸法図に合わせて調整します。
●本体下面の吸込パネルの取付け面と天井下面が同一高さになるよう調整します。

お願い

●取付け作業の前に同梱の「据付工事後の確認」に従って点検を行ってください。

9-1. 天井開口位置決め型紙の取付け

準備



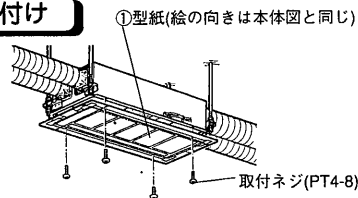
- ① 型紙を広げ平らにする。
- ② 型紙の「●」印に穴をあける。
●型紙に記載してある●印(4か所)をプラスドライバーで穴をあけます。

お願い

●φ6mm以上の穴をあけないでください。型紙が取付けられなくなります。

- ③ 型紙の「フィルター」部分を切り抜く。

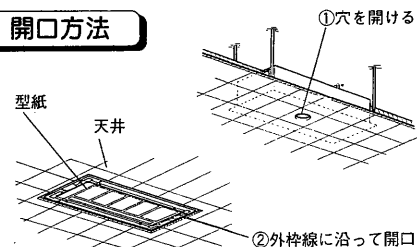
取付け



- ① 型紙を取付ける。
●付属のPT4-8(4本)で取付けます。
●型紙の絵と本体が同じ向きになるように取付けます。

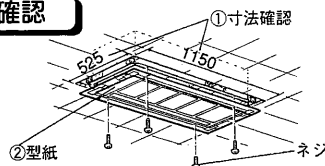
9-2. 天井開口作業

開口方法



- ① 本体天吊位置の中心付近に穴をあける。
- ② 型紙の外枠線に沿って天井を開口する。

寸法確認

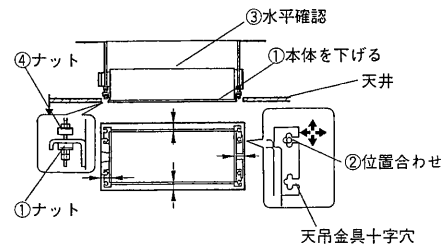


- ① 天井開口穴寸法を確認する。
●長辺：1150mm±10mm
●短辺：525mm±10mm
- ② 型紙をはずす。
●ネジ(4本)をはずし、型紙を取りはずします。

9-3. 吸込パネルの取付け

※P-500GTの取付工事説明書も合わせてお読みください。

本体位置調整



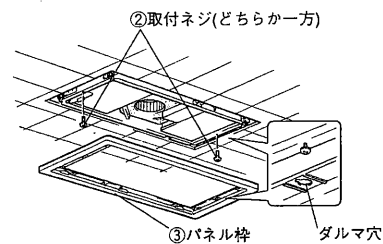
- ① 本体を天井下面まで下げる。
●本体下面と室内側天井面を同じ位置にします。
- ② 天井開口穴と本体位置を合わせる。
●天吊金具の十字穴を利用し、本体位置と天井穴位置を外形寸法図に照らし合わせて調整します。
- ③ 水平を確認する。
●本体の水平を水準器で確認しながら調整します。

お願い

●必ず水平にしてください。水平でない天井面と吸込パネルとの間に隙間ができます。

- ④ 調整後、ナットを締め付ける。
●ゆるみ防止のためダブルナットで固定します。

吸込パネルの取付け

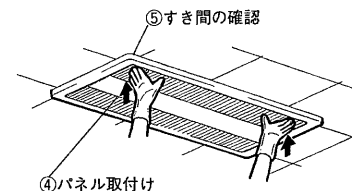
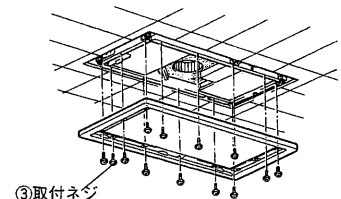


- ① パネルとパネル枠を分離する。
●吸込パネルの据付工事説明書に従って分離します。
- ② 取付ネジ(2本)を取付ける。
●図の位置のどちらか一方に吸込パネル付属の取付ネジを仮締めします。
- ③ パネル枠を取付ける。
●仮締めした取付ネジにパネル枠のダルマ穴を引っ掛け、ネジで固定します。
次に残りの取付ネジ(13本)で固定します。

お願い

●強すぎるネジの締め付けはひび、割れの原因になります。締め付けには十分注意してください。
●パネル枠には取付方向性はありません。パネルを開閉することを考えて、開閉に支障のない方向で取付けてください。

- ④ パネル枠にパネルを取付ける。
●吸込パネルの据付工事説明書に従い分離とは逆の手順でパネルを取付けます。

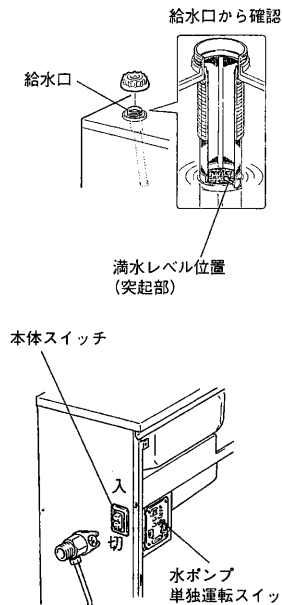


- ⑤ すき間の確認をする。
●天井面と吸込パネルに隙間がないことを確認します。すき間がある場合は、再度本体位置を調整します。

10. 試運転

■試運転前に「据付工事後の確認」表に従いチェックします。
できるかぎり、お客さま立ち会いで試運転を実施してください。
■分電盤のブレーカーを「入」にします。

ボイラの準備



■取扱いはボイラの据付工事説明書も参照してください。

1. 防錆循環液の注入

- ①給水キャップをはずして給水口から循環液を注入する。
●注入時には循環液が飛散して本体内部の電気部分にかからないようにする。(故障の原因となります)
- ② 圧損・高低差の大きい回路から順に1回路ごとバルブ操作を行う。

2. ボイラ運転操作

- ①電源プラグをコンセントに差し込む。
- ②ネジ2本をはずして、前パネルをはずす。
- ③ 本体左上の基板上的水ポンプ単独運転スイッチ (SW3D) を押す。
(表示部に「OA」が表示されている場合は、防錆循環液を注入し、「OA」が消灯したら再度SW3Dを押す)
- ④表示部に「P」を表示して水ポンプが動く。
(「P」表示しないときは本体スイッチを「入」にする)

3. 換気暖房ユニットの運転操作

- ①換気暖房ユニットのコントロールスイッチを「入」、「暖房」にする。
(本体内の弁が、約2分後に開きます)

4. エアー抜き

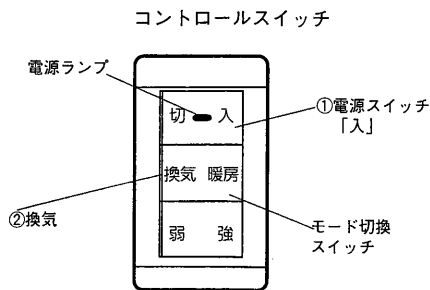
- ①ポンプ単独運転を空気が抜ける音(ゴボゴボ音)が消えるまで運転する。
- ② 防錆循環液は循環後、空気が抜けると水位が下がりますので、滴水レベル位置まで補給する。

5. 水ポンプ単独運転の停止

- ①再度基板上的水ポンプ単独運転スイッチ (SW3D) を押す。湯温設定モードに戻ります。 **湯温設定の目安**

表示部	5	約80℃
	4	約72℃
	3	約65℃
	2	約60℃
	1	約55℃

試運転方法



換気の試運転

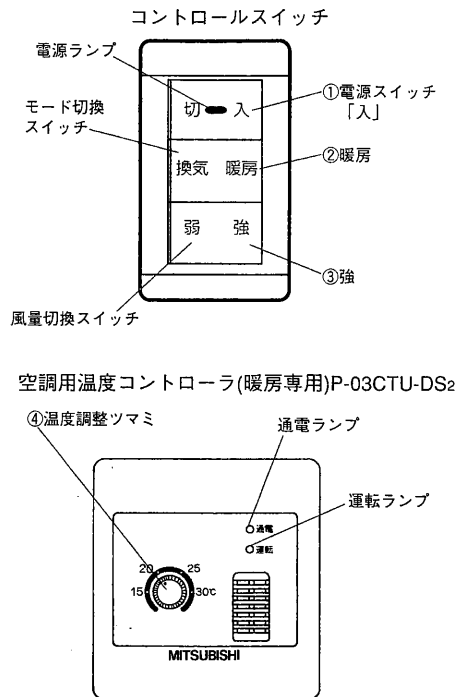
- ① コントロールスイッチの電源スイッチを「入」にする。
- ② モード切換スイッチを「換気」にする。

メモ

- 風量切換スイッチを切り替えても、ファンの風量は変わりません。(弱運転)

確認項目

- 電源ランプの点灯
- ファンが回り吹出グリルより風が出ることを確認
- 屋外フードから空気が入りしていることを確認



暖房の試運転

- ① コントロールスイッチの電源スイッチを「入」にする。
- ② モード切換スイッチを「暖房」にする。
- ③ 風量切換スイッチを「強」にする。
- ④ 空調用温度コントローラ(P-03CTU-DS2)の温度調整つまみを右にいっぱいまで回す。

メモ

- ボイラが運転を開始してもすぐには温風は出ません。暖房運転開始10分後を目安に確認してください。

確認項目

- コントロールスイッチの電源ランプの点灯
- 空調用温度コントローラの通電ランプの点灯
- 空調用温度コントローラの運転ランプの点灯
- 吹出グリルから温風が出ることを確認
- 温度調整つまみを左いっぱいまで回し、吹出風量が変わることを確認するとともに、ボイラの燃焼停止も確認
- 再度温度調整つまみを右いっぱいまで回し、風量切換スイッチを「弱」にして吹出風量が変わることを確認

複数台設置の住宅の試運転

- 本体が複数台設置してある場合は、本体1台ごとに試運転を行う。

試運転終了

- 試運転終了後、コントロールスイッチを「切」にする。
- 分電盤ブレーカーを「切」にする。

その他確認事項

- 温水配管接続部、配管途中に水漏れがないか確認
- 断熱ホース接続部で水漏れがないか確認
- 本体から異常音、異常振動がないか確認
- すべての吹出グリルから風が出ているか確認
- すべての吹出グリルから異常音が出ていないか確認

11. お客さまへの説明

- 別冊の取扱説明書にもとづいて、正しい使い方をご説明ください。とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重大な注意事項を記載していますので、必ず守るようご説明ください。
- この据付工事説明書は、据付け後お客さまにお渡しください。なお、(同梱の) 取扱説明書および保証書も必ずお客さまにお渡しください。



中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111